

チャペルだより

第 216 号
2025. 12. 1

後期主題

「学ぶ尊さ」（詩編118編24－25節）
“The Value of Learning.” (Psalm 118: 24-25)

主題聖句

今日こそ主の御業の日。今日を喜び祝い、喜び躍ろう。どうか主よ、わたしたちに救いを。
どうか主よ、わたしたちに栄えを。

編集 広島女学院大学宗教委員会 〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1 TEL (082)228-0386
<http://www.hju.ac.jp/> E-mail:hjucac@gaines.hju.ac.jp

広島女学院大学

クリスマスのご案内



聖書のエピソードと美術 最後の晚餐

翻訳家・元フィレンツェ大学講師 中嶋 浩郎 先生



食を分かち合える喜び

同志社大学社会学部社会福祉学科准教授 マーサ・メンセンディーク 先生



クリスマス・メッセージ 心の中に平和を 人から人へ

被爆の語り部
日米共同制作劇映画「What Divides Us」のエグゼクティブプロデューサー 近藤 純子 さん



クリスマス音楽礼拝

演奏：弦楽四重奏 A.O. カルテット



ショートメッセージ：大学宗教委員長・宗教センター長 粟津原 淳 先生

※上記いずれも「キリスト教の時間」火曜日 13:00～13:45 於 砂本記念講堂



12/1(月) 18:00～18:30

広島女学院大学 アイリスガーデン内

クリスマスツリー点火 音楽礼拝



12/18(木) 12:30～12:50

広島女学院大学 ゲーンスチャペル

★クリスマスコンサート★

学生オルガニストによるパイプオルガン演奏



12/21(日) 開場 16:30 開演 17:00

広島女学院ゲーンスホール(広島女学院中学高等学校)

★THE MESSIAH★

入場無料

広島女学院クリスマスコンサート

キリスト教に基づくエッセイ 58

絵画の起源「祈り」

人間生活学部 児童教育学科 教授 三桙 正典



絵画の起源は諸説ありますが、その一つに「祈り」があります。良いかどうかよく分かりませんが、私は絵を描く時に自分の描いた絵を見てくれる人が「楽しい」「嬉しい」そして「幸せな」気持ちになってくれるよう「祈り」を込めて描いています。

広島市内の原爆ドームの横に建てられている「おりづるタワー」の3階の壁画はその一つです。壁画は WALL ART PROJECT “2045 NINE HOPES”の企画で広島が原爆被災を受けてから100年後の未来に廃墟から立ち直った広島の今を生きる様々な世代の9人のアーティストの一人として、テーマ『後世に残したい「2045年への願い』』を描かさせて頂いた作品です。タイトルは「白カラス」。壁画は向かって右側から未来に向けての水先案内のギフチョウ、中央扉には無垢で純粋な魂としての白蝶、そして2羽の白カラス、最後に「愛があればどのような困難も乗り越えられる」という解釈のラテン語を描いています。タイトルでもある白カラスは、一般的にはあり得ない事の例えとされています。未来に向けての視点や価値観を本来のカラスの色から「新しいあり得る平和の祈り」の象徴としたかった思いからです。

カラスは、全身の色が黒いからでしょうか、不吉な鳥(生き物)として受け止められやすいですが、広島の宮島厳島神社ではカラスは神様を適切な場所へ導いた神の使いの鳥として示されています。また聖書においても、ノアの方舟の物語(創世記8章6～7節)では「ノアは方舟の家を開いてカラスを放った。カラスは土地が

乾くまで出たり戻ったりしていた。」と記されているように、洪水後の地上の状態を確かめるために放された真理の境界を見透すことが出来る神秘の鳥として登場しています。つまりカラス自体色は黒ではあるが、ただ単に「不吉」なネガティブなイメージだけではなく、「神の使い(聖なる鳥)」のようにポジティブなイメージも合わせる2面性を持っているのです。その一面でもある聖なる神秘性を持った使者のイメージを基盤に白カラスを描いています。そして「白」は清潔、無垢、神性の象徴として宗教や芸術など様々な分野の中で用いられてきた色です。「白カラス」の「白」は特に「神聖な光」を表現したく自然の移り変わる光をそのまま再現しています。機会があればその日々変わる白カラスの白い羽をご覧頂けたらと思います。

先人の広島の人々が経験した未曾有の被爆体験、その廃墟から「立ち直り、乗り越えてきた力強さ」「たくましさ」によって当時あり得ないと考えられた平和な広島が今、存在します。力強く未来を見据える2羽の大きな白カラスは、爆心点の方向を向き、未来を切り拓いていく者たち(親子であり、きょうだいであり、愛する者同士など)を象徴しているのです。

先行きが不透明で将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会と言われる現在。2045年の未来に向けての夢や希望、安らぎや癒やしなどの大切な「祈り」をこの壁画作品を通して様々な人たち一人ひとり(特にこれから先に生まれ来る子どもたちに)に届けたいと思っています。



学生エッセイ

キリスト教活動にかかわって 成長できた四年間

人文学部 日本文化学科4年 増谷 帆香

聖歌隊に入隊して4年、チャペル委員に加入して3年間、成長することができました。聖歌隊は、もともと合唱に興味があったことをきっかけに初挑戦しました。玉理先生や先輩方のパフォーマンスに触れ、私自身もどのように活躍したいと考えるようになりました。メソソプラノ・アルトパートを担当するようになり、日本語と英語はもちろん、それまで縁がなかったラテン語の歌詞を合唱することは、正直難解を感じていました。しかし、玉理先生と隊員同士で力を合わせて一つの聖歌にすることは、コロナ禍で高校生活を過ごした私にとって、非常に有意義なものになったと思います。『光の子になるため』や『球根の中には』など、聖歌隊に入隊しなければ出会えなかつた美しい賛美歌は、いついかなる時も私を励ましてくれています。

チャペル委員会の活動では、「おにぎりアクション」の広報活動や、クリスマスアート制作などをあやめ祭で行いました。先輩と後輩、そして宗教センターのみなさんと協力し合い、あやめ祭に来られるお客様に対して、「おにぎりアクション」の呼びかけをしたり、クリスマスアートの体験をしていただいた際は、とてもこの空間が楽しいと感じていました。特に、クリスマスアートを通して、お客様が笑顔でプラバンや松ぼっくりを活用した工作に取り組んでいらっしゃったところにやりがいを感じました。

キリスト教について、活動に関わる前はただ「神聖なもの」というイメージでしたが、キリスト教活動の中で「皆が笑顔になるもの」という認識を持つようになりました。キリスト教活動をしなければ出会えなかつたたくさんの仲間や先生方、そして宗教センターのみなさんと絆を深められてとても嬉しかったです。

たくさんの人から頂いた真心を胸に、今後も社会活動に取り組んでいきたいです。



パイプオルガン・聖歌隊コンサート あやめ祭



みんなのチャペル



おにぎりアクションは、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」の写真をSNS(Instagram, X, Facebook)、または特設サイトに投稿すると、1枚の写真投稿につき給食5食分に相当する寄付(100円)を協賛企業が提供し、認定NPO法人 TABLE FOR TWO Internationalを通じてアフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。開発途上国の飢餓と、先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組むTABLE FOR TWOが主催し、毎年、10月16日「世界食料デー」を記念して実施しています。

(参考)おにぎりアクション onigiri-action.com/about/



宗教委員会では、毎年クリスマスに学生・教職員の皆様に献金をお願いし、「クリスマス献金」として下表の通りの団体等に送金してきました。この営みを「献金」と呼ぶのは、神様から与えられた恵みの中からその力に応じて神様にお献げすることは一人ひとりの神様への献身の表現である、というキリスト教的な考えに沿っています。そのようにして集めた財貨を、祈りや感謝や支援の思いをこめて、諸団体にお送りしています。

わたしたちの身近なところをはじめ遠い場所であっても、様々な困難や生きづらさを感じている人々がいることを覚え、共に生きることへの思いと分かち合いの気持ちを新たにするために、献金を呼びかけさせていただきます。このような趣旨を踏まえ、どうぞお力の及ぶ限りで結構ですので、ご協力をお願いいたします。額の多寡ではなく、私たちの心を献げ、届けたいと思います。

<献金方法について>

12月2日、9日、16日「キリスト教の時間」受付、12月23日の「キリスト教の時間—クリスマス音楽礼拝」「木曜日チャペル」受付、宗教センター内及び宗教センターメールボックスにて受け付けています。

過去4年間のクリスマス献金額と送金先・2025年送金先（予定）

年度	献金先と献金額
2021	東日本大震災関連 いわき放射能市民測定室たらちね（石森雄一郎先生）11,500円 / 広島YMCA 災害支援募金（中奥岳生さん関連）11,500円 / 国立原爆死没者追悼平和祈念館関連 公益財団法人広島平和文化センター 11,500円 / 社会福祉法人 燐火心会 三滝苑（野村妙子さん関連）11,500円 / 認定NPO法人乳がん患者友の会きらら（中川圭さん関連）11,500円 / 広島難病団体連絡協議会（西河内靖泰先生関連 11,500円）/ ワールド・ビジョン・ジャパン 11,500円 / 広島いのちの電話 / 広島キリスト教社会館 11,500円 / 広島夜回りの会 11,500円 / 止揚学園 11,500円 / 韓国の原爆被害者を救済する市民の会 11,500円
2022	るうてる食堂クレヨン（立野泰博先生関連）8,500円 / 国立原爆死没者追悼平和祈念館関連 公益財団法人広島平和文化センター 8,500円 / 動物愛護NPO SPICA（山下育美先生関連）8,500円 / ワールド・ビジョン・ジャパン（長下部穂さん関連）8,500円 / 広島いのちの電話 8,500円 / 広島キリスト教社会館 8,500円 / 広島夜回りの会 8,500円 / 止揚学園 8,500円 / 韓国の原爆被害者を救済する市民の会 8,500円
2023	ここいろhiroshima（當山敦己さん関連）8,000円 / 夕焼けぼっぽ食堂（ハツヤレイコさん関連）8,000円 / 広島文学資料保全の会（土屋時子さん関連）8,000円 / NPO 法人カンボジアひろしまハウス協会 8,000円 / 動物愛護NPO SPICA（山下育美先生関連）8,000円 / ワールド・ビジョン・ジャパン 8,000円 / 広島いのちの電話 8,000円 / 広島キリスト教社会館 8,000円 / 広島夜回りの会 8,000円 / 止揚学園 8,000円 / 韓国の原爆被害者を救済する市民の会 8,000円
2024	ミルキーハウス（濱田裕三日本キリスト教団東広島教会牧師）9,000円 / 張宇成（日本キリスト教団宮崎教会牧師）9,000円 / 谷のゆり幼稚園 9,000円 / ここいろhiroshima 9,000円 / 動物愛護NPO SPICA（山下育美先生関連）9,000円 / 広島いのちの電話 9,000円 / 広島キリスト教社会館 9,000円 / 広島夜回りの会 9,000円 / 止揚学園 9,000円 / 韓国の原爆被害者を救済する市民の会 9,000円
2025 (予定)	JACF（公社）アジア協会・アジア友の会（宮川真一先生関連）/ 動物愛護NPO SPICA（山下育美先生関連）/ 広島いのちの電話 / 広島キリスト教社会館 / 広島夜回りの会 / 止揚学園 / 韓国の原爆被害者を救済する市民の会

「広島夜回りの会」活動支援のお願い

本学では「野宿労働者の人権を守る広島夜回りの会」を支援しています。これから冬に向かってご支援いただきたいのは、使い捨てカイロ、石鹼、タオル、カミソリなど日用品です。また、温かい靴下や下着（新品）なども、少量で結構ですので、無理をしない範囲でいただけますと幸いです。より厳しい立場や生活環境に身を置かざるを得なくさせられている方々の存在をおぼえ、可能な範囲でのご協力を願いいたします。ご協力の品は、11月26日(水)～12月24日(水)の間に、宗教センターにご持参ください。集まったものを「広島夜回りの会」にお届けします。

皆様のご協力はもちろんのこと、広島市保護自立支援課による生活保護を受けるための街頭相談、広島県社会福祉士会による毎月1回の入浴サービス・年6回の昼食＆相談会、聖公会、広島学院の生徒たち・カトリック幟町教会有志、広島流川教会による上幟町公園で行われる毎月の炊き出し、バプテスト教会によるゆで卵とバナナの準備などのご協力で、長年の野宿生活を強いられてきた多くの方が、否定から肯定へ、失望から希望へと人間らしさを回復されています。

風呂に入つて身ぎれいにすること、テーブルについて食器で食事をすること、他の人と話をしてこと、わたしたちにとってはごく当たり前のことがですが、路上生活を強いられている方々には人間らしさを取り戻すきっかけになるということに、あらためて驚きを感じています。

現在、わたしたちが把握している野宿生活者は市内（広島駅周辺／その地下街／球場周辺／図書館／平和公園／繁華街／広大跡地／宇品埠頭などの周辺地区／水鳥公園）に約10名いらっしゃいます。

活動への取り組み方は、毎年、参加する人の顔ぶれなどによって変わってきますが、その中心、誰のために行っているかを忘れずに、人と人との繋がり・絆を大切にしながら活動していく中でわたしたちも成長できればと思います。

野宿労働者の人権を守る広島夜回りの会代表 肥塚 僕司